

### 3 ミドルリーダー育成 [ 新 ]

#### (1) 大学・知事部局等への教職員派遣

各学校や地域、県内の中核となるリーダーを育成するため、大学や県教育研修センター等へ長期の派遣を行い、教育に関する専門的な分野の研修を充実させます。

また、産業界や民間企業等の先端的な取組や県の産業振興施策の動向等について実務を通して学ぶために、農林水産業や工業、商業等の振興に係る知事部局への派遣を充実させます。

(県教育委員会)

#### (2) 中堅教諭等資質向上研修

教職員自身のキャリアを振り返らせるとともに、これからのキャリアデザインを見据えた、教育全般にわたる、個々の能力、適性等に応じた研修を行い、実践的指導力を向上させます。

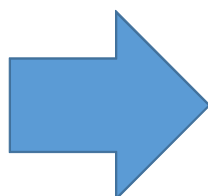
また、学校運営における中核的な役割を果たす、中堅教諭等としての資質向上も図ります。

(県教育委員会)

#### 【中堅教諭等資質向上研修】

##### 十年経験者研修

- ◇ 在職期間が十年に達した後相当の期間内に行う。
- ◇ 教諭等の資質の向上を図るために必要な事項に関する研修である。



##### 中堅教諭等資質向上研修

- ◆ 実施時期の弾力化を図る。
- ◆ 教育活動その他の学校運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭等としての職務を遂行する上で必要とされる資質の向上を図るために必要な事項に関する研修である。

教育公務員特例法の一部改正

## 1 チーム体制の充実 [新]

学校で生じる課題は様々な要因が複雑に関係し合っています。それらの課題を解決するために、学校内外の多様な人材がお互いに協力し合って機能することが大切です。

管理職のリーダーシップの下、学校内外のスタッフや関係機関、PTA、学校評議員、地域人材等が連携・協働し組織として課題解決に取り組むことは、教職員の負担軽減や、本来専念すべき学習指導や生徒指導等に集中できることにつながります。

今後、国の動向を注視しながら、チーム学校の体制づくりを推進していきます。

### (1) 校内体制の強化

#### ① 管理職のリーダーシップの発揮

管理職は、学校組織マネジメントや人材育成について高い意識をもち、学校が教育的課題解決に向けて組織として機能できるよう、リーダーシップを発揮する必要があります。

そのため、学校では、管理職が各職員に対して学校経営ビジョン実現のための自己の役割を明確に示すなど、チームで協働する体制づくりを行うとともに、外部人材を有効に活用できる環境の充実に努めます。

また、管理職研修において、学校組織マネジメントや働きやすい職場環境づくり、メンタルヘルスマネジメントなどのリーダーシップを発揮させる実践的な研修を実施します。

#### ② 主幹教諭の配置による組織力の向上

主幹教諭は、OJTの推進や校内の総合的な調整を行うなど、学校組織マネジメントを推進するリーダーとしての役割があります。

主幹教諭等を対象としたリーダー養成研修では、次世代リーダーとしての資質向上を図るため、マネジメント力等の育成を図ります。

また、職の適正な配置により、学校の組織力の向上を図ります。

#### ③ 指導教諭の配置による教員の指導力の向上

指導教諭は、その高い教科指導の専門性を生かし、若手教職員等の育成や校内研修の推進役としての役割があります。

今後、職の適正な配置や研修の充実により、教員の指導力の向上を図ります。

#### ④ 事務職員の学校運営参画による体制の強化

事務職員が学校運営に参画する体制を強化することは、教員との協働体制の確立につながることから、学校の組織力を向上する上で欠かせない取組です。

学校事務に精通した学校事務職員の確保・育成を図るほか、新たに事務副主幹を配置するなどして、学校事務職員一人一人の資質向上及び学校事務の機能強化を図ります。

#### ⑤ 外部人材の活用による協働体制の強化

校内の協働体制だけでは解決が困難な問題等については、多様な専門性や経験をもった人材と協力して学校の教育的課題を解決できるよう、スクールカウンセラー(S C)やスクールソーシャルワーカー(S S W)等の配置を充実させます。

(県教育委員会、市町村教育委員会、学校)

## (2) 地域との連携・協働の推進

### ① 地域との連携・協働体制づくりの推進

地方創生の観点から、学校を核とした地域づくりが求められています。地域が学校を支援・応援するという一方的な関係ではなく、子どもたちも総合的な学習の時間等の教育活動を通じて地域に出向き、地域で学ぶ、あるいは、地域課題の解決に向けて学校・子どもたちが積極的に貢献するなど、学校と地域の双方向の関係づくりが必要です。

そこで、教職員には、学校支援ボランティアとコミュニケーションを図ったり、自ら地域に出かけたりして、地域の人材を知ることが一層求められます。このことが、教職員の社会人としての幅を広げる良い機会となるとともに、地域とのネットワークの構築につながります。

今後、地域とともにある学校へと転換していくために、学校と地域が目標を共有し、パートナーとなって子どもを支える仕組み（地域学校協働体制）づくりを進めます。

（県教育委員会、市町村教育委員会）

### ② コーディネート機能の強化

学校と地域との連携・協働を円滑に行うために、学校内において地域との連携を推進する教職員（地域連携担当教職員）を対象とした研修の充実を図ります。また、地域において学校との連携窓口を担うコーディネーター等を対象とした研修の充実に努めます。さらに、学校と地域との連携促進に重要な役割を果たす社会教育主事の有資格者を活用するために、教職員に社会教育主事の資格取得を推奨するとともに、計画的・継続的な育成を図るための方策について検討します。

（県教育委員会）

## 2 教職員のマネジメント力の向上

### (1) 管理職研修（管理職）

新任の管理職を対象に、学校組織マネジメント、人材育成などに関する管理職としての役割やリーダーシップについて研修を行い資質の向上を図ります。

また、メンタルヘルスマネジメントの視点から、職場環境の把握と改善、職員への声かけや相談への対応など、実践的な研修を実施します。

（県教育委員会）

### (2) リーダー養成研修（主幹教諭等）

リーダー養成研修においては、教育に関する専門的研修及び社会体験研修等を行うことにより、本県教育の次世代リーダーとしての資質向上、更には、将来の学校経営者として必要なマネジメント力等の育成を図ります。

また、次世代リーダーとして、学校経営の現状を理解し問題解決する能力、分析力、構想力、判断力など意思決定能力を培う実践的な研修を実施します。

（県教育委員会）

### (3) マネジメントリーダー養成塾（教諭等）〔新〕

若手や中堅教員を対象とした塾を設置し、本県教育の課題解決に向けた研究やマネジメント力を高める実践的な研修を通して、変化の激しい時代に対応できる判断力、行動力等をもった次世代のマネジメントリーダーの育成を推進します。

（県教育委員会）

### (4) 職能研修

新任の教務主任等を対象に実施する職能研修においても、学校組織マネジメントの観点からミドルリーダーに求められる役割について理解を深めたり、マネジメントの資質・能力を高めたりするための内容を盛り込んだ研修を実施します。

（県教育委員会）

### 【マネジメントに係る研修計画】

